

2. 県の広報・広聴活動

(1) 県の広報活動の認知状況

問9 あなたは、次にあげる県の広報を読んだり、見たり、聴いたりしたことがありますか。
1～15のそれぞれの項目についてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

①広報誌「滋賀プラスワン」(新聞折り込みで全戸配布 毎月1日発行・県ホームページにも掲載)

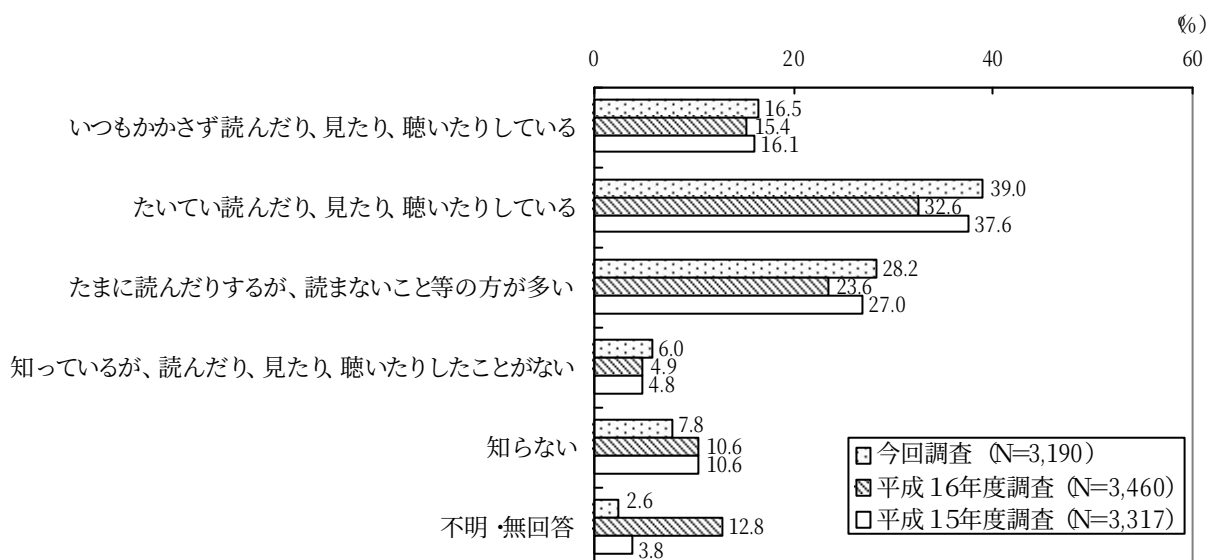
■閲読・視聴率※は55.5%、周知率※は89.7%

※閲読・視聴率：「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」と「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」の合計。

※周知率：閲読・視聴率に、「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多く」と「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」を合わせたもの。

「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が最も多く39.0%、次いで「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多く」が28.2%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は16.5%となっている。

平成16年度調査と比較すると、閲読・視聴率は7.5ポイント増加、周知率も13.2ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が最も多いが、湖北地域は「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多く」も37.3%で同率となっている。閲読・視聴率は、湖南地域の58.6%が最も高く、湖北地域の49.1%が最も低い。また、周知率は、湖北地域の93.3%が最も高く、湖東地域の86.2%が最も低い。

【性別】

男女とも「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が最も多い。閲読・視聴率は、女性(59.9%)が男性(50.0%)を9.9ポイント上回っており、周知率も女性(90.3%)が男性(89.3%)を1.0ポイント上回っている。

【性・年代別】

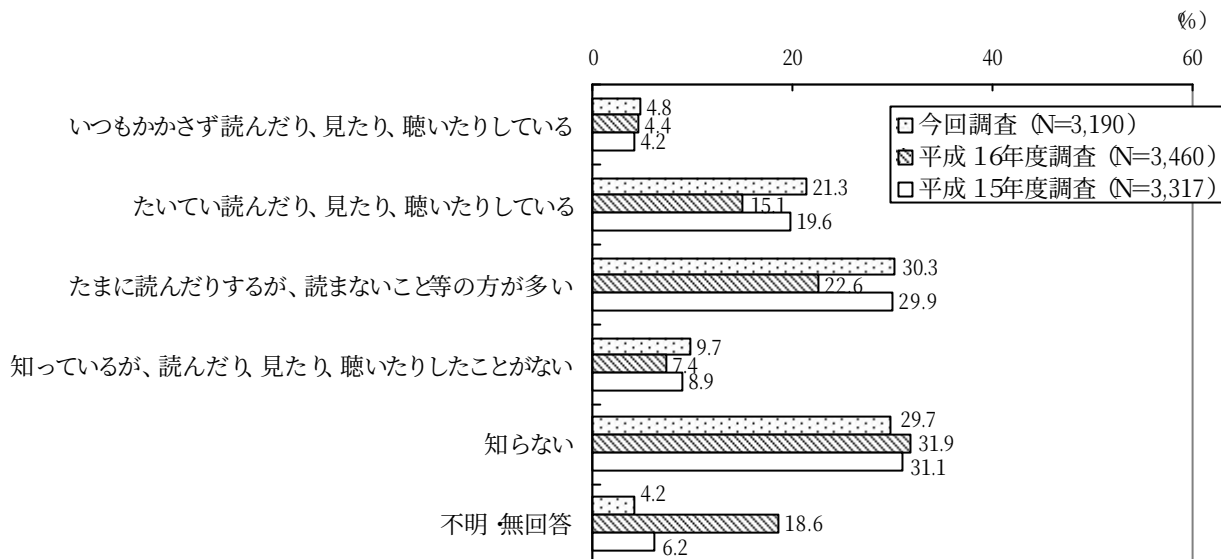
男女とも年代が上がるにつれて、閲読・視聴率、周知率ともに概ね増加している。閲読・視聴率は、男性の20歳代が特に低く17.9%となっている。

②県政に関する新聞広告（毎月最終日曜日の新聞の県内版下部5段）

■閲読・視聴率は 26.1%、周知率は 66.1%

「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が最も多く 30.3%、次いで「知らない」が 29.7%、「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が 21.3%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 4.8%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 6.6 ポイント増加、周知率も 16.6 ポイント増加している。



【地域別】

東近江、湖北、湖西地域で「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が最も多く、他の地域では「知らない」が最も多くなっている。閲読・視聴率は、各地域とも 20% 台となっており、湖西地域の 29.5% が最も高く、大津・志賀地域の 23.8% が最も低い。

周知率は、湖北地域の 71.0% が最も高く、大津・志賀地域の 62.8% が最も低くなっている。

【性別】

男性では「知らない」が最も多いが、女性では「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が最も多い。閲読・視聴率は男性が 27.3%、女性が 25.1%、周知率は男性が 66.5%、女性が 66.1% となっている。

【性・年代別】

男性では 20 歳代の閲読・視聴率が 7.6%、周知率が 33.7% となっており、男女各年代の中で最も低い。また、男性では 40 歳代までの各年代で閲読・視聴率が 10% 台となっている。

男性で閲読・視聴率が最も高いのは 70 歳以上の 52.4%、周知率は 60 歳代で 79.7% となっている。

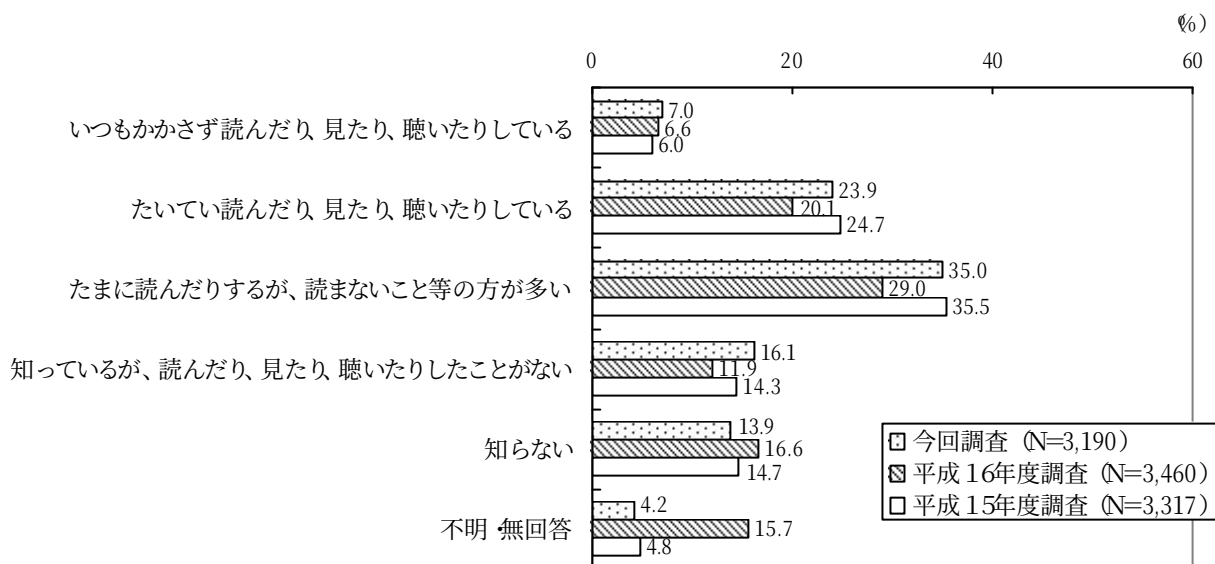
女性では 20 歳代、30 歳代で閲読・視聴率が他の年代よりも低く、20 歳代では 12.7%、30 歳代では 13.2% となっている。閲読・視聴率が最も高いのは 60 歳代で 36.3%、周知率が最も高いのも 60 歳代で 76.1% となっている。

③県議会広報紙「議会だより」（新聞折り込みで全戸配布 年4回）

■閲読・視聴率は 30.9%、周知率は 82.0%

「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が最も多く 35.0%、次いで「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が 23.9%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 7.0%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 4.2 ポイント増加、周知率も 14.4 ポイント増加している。



【地域別】

湖西地域を除き全ての地域で「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が最も多い。湖西地域は「たいてい読んだり、見たり、聴いたりしている」が 34.5%で最も多く、「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が 33.1%となっている。

閲読・視聴率は、湖西地域の 43.7%が最も高く、大津・志賀地域の 25.7%が最も低くなっている。

周知率は、大津・志賀地域（79.4%）、湖東地域（79.4%）を除いた他の地域では、80%台となっており、湖北地域の 86.8%が最も高い。

【性別】

男女とも「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が最も多い。閲読・視聴率は男性 31.9%、女性 29.7%、周知率は男性 81.4%、女性 82.8%となっている。

【性・年代別】

男性では 20 歳代の閲読・視聴率が 6.5%、周知率が 57.1%となっており、男女各年代の中で最も低い。また、男性では 40 歳代までの各年代で閲読・視聴率が 10%台となっている。

男性で閲読・視聴率が最も高いのは 70 歳以上の 56.5%、周知率は 50 歳代で 92.9%となっている。

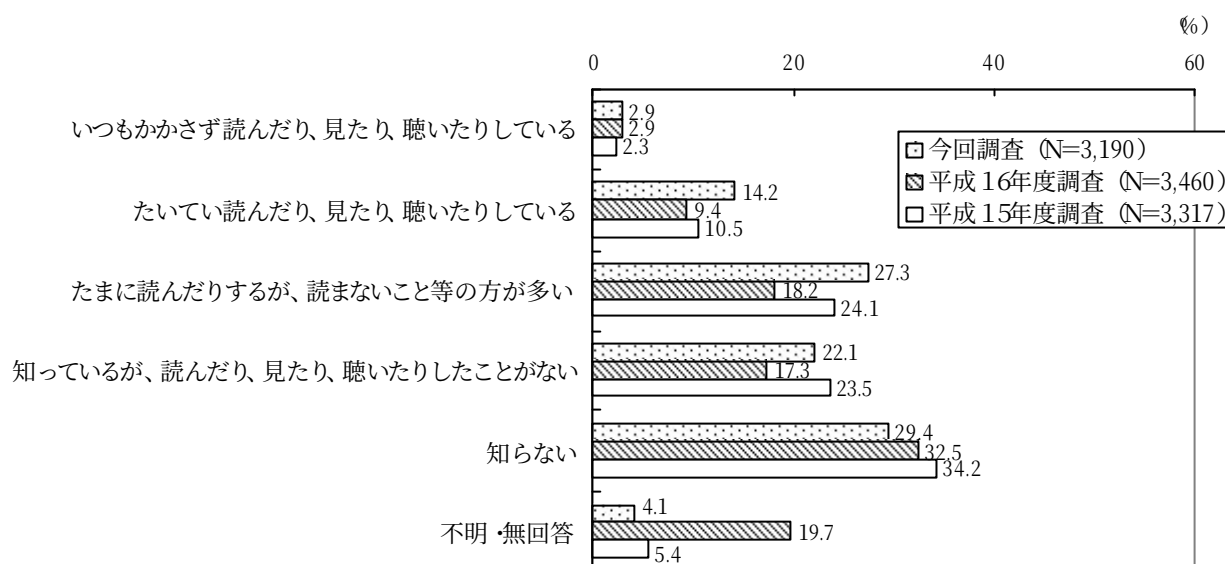
女性では 20 歳代、30 歳代で閲読・視聴率が他の年代よりも低く、20 歳代では 10.0%、30 歳代では 18.8%となっている。閲読・視聴率が最も高いのは 60 歳代で 42.1%、周知率が最も高いのは 40 歳代で 91.8%となっている。

④テレビ番組「県政テレビタ刊プラスワン」（びわ湖放送 月～金曜日 18:40～18:50）

■閲読・視聴率は 17.1%、周知率は 66.5%

「知らない」が最も多く 29.4%、次いで「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多し」が 27.3%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 2.9%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 4.8 ポイント増加、周知率も 18.7 ポイント増加しているが、「知らない」は 3.1 ポイント減少している。



【地域別】

概ね各地域で「知らない」が最も多いが、東近江地域では「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多し」が 29.8%で最も多くなっている。また、湖北地域は「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 27.5%で最も多い。

閲読・視聴率は、各地域とも 10%台半ばから 20%台前半の値となっている。最も高いのは湖北地域の 23.5%、最も低いのは大津・志賀地域の 14.1%となっている。

周知率は、概ね 60%台となっているが、湖北地域は 78.0%で最も高い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率は、女性（18.2%）が男性（15.1%）を上回っているが、周知率は、男性 67.3%、女性 65.6%で男性の方が高い。

【性・年代別】

男性では 50 歳代まで、女性では 40 歳代までの年代で閲読・視聴率が一桁台となっており、女性の 40 歳代が 3.7%で最も低い。男性では 70 歳以上の 35.5%、女性では 60 歳代の 37.0%が最も高い。

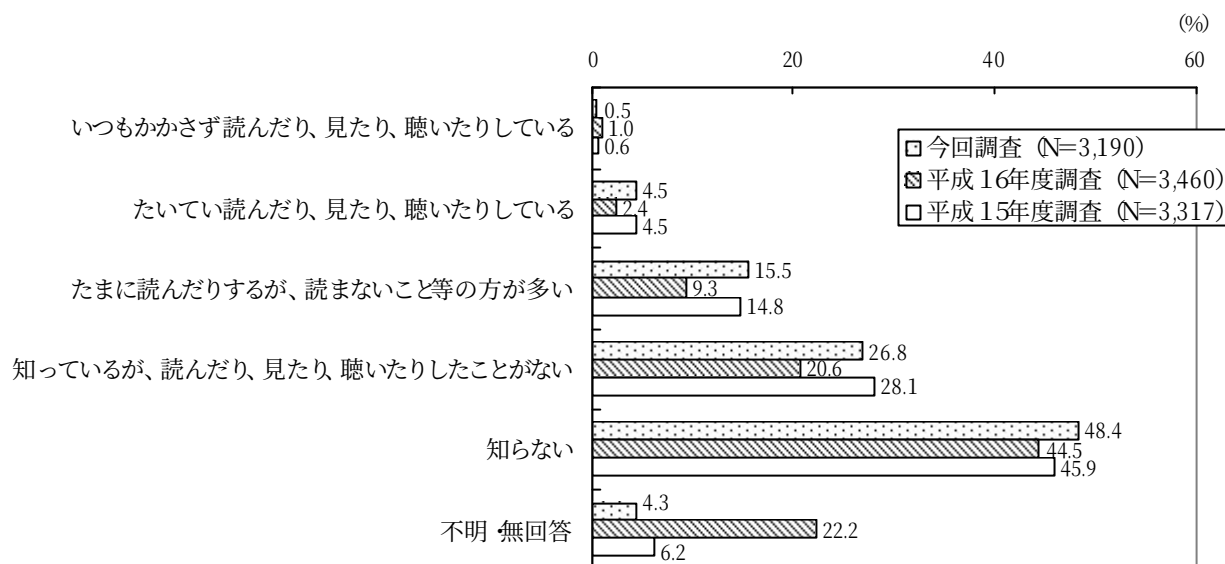
周知率は、男女ともに年代が上がるにつれて概ね増加しており、男性では 60 歳代の 75.5%が最も高く、女性では 60 歳代の 74.0%が最も高い。

⑤テレビ番組「手話タイム・プラスワン」(びわ湖放送 毎週月曜日 21:15～21:25)

■閲読・視聴率は 5.0%、周知率は 47.3%

「知らない」が最も多く 48.4%で半数近くとなっており、次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 26.8%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 0.5%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 1.6 ポイント増加、周知率も 14.0 ポイント増加しているが、「知らない」も 3.9 ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「知らない」が最も多い。

閲読・視聴率は湖北地域の 5.9%が最も高く、湖西地域の 2.1%が最も低い。

周知率は、湖北地域の 60.3%が最も高く、甲賀地域の 41.1%が最も低い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率は、女性 (5.2%) が男性 (4.8%) を上回っており、周知率は、男性が 50.2%、女性が 44.9%で男性の方が高い。

【性・年代別】

男女ともに概ね各年代で閲読・視聴率は一桁台となっているが、女性の 60 歳代のみ 11.0%となっている。

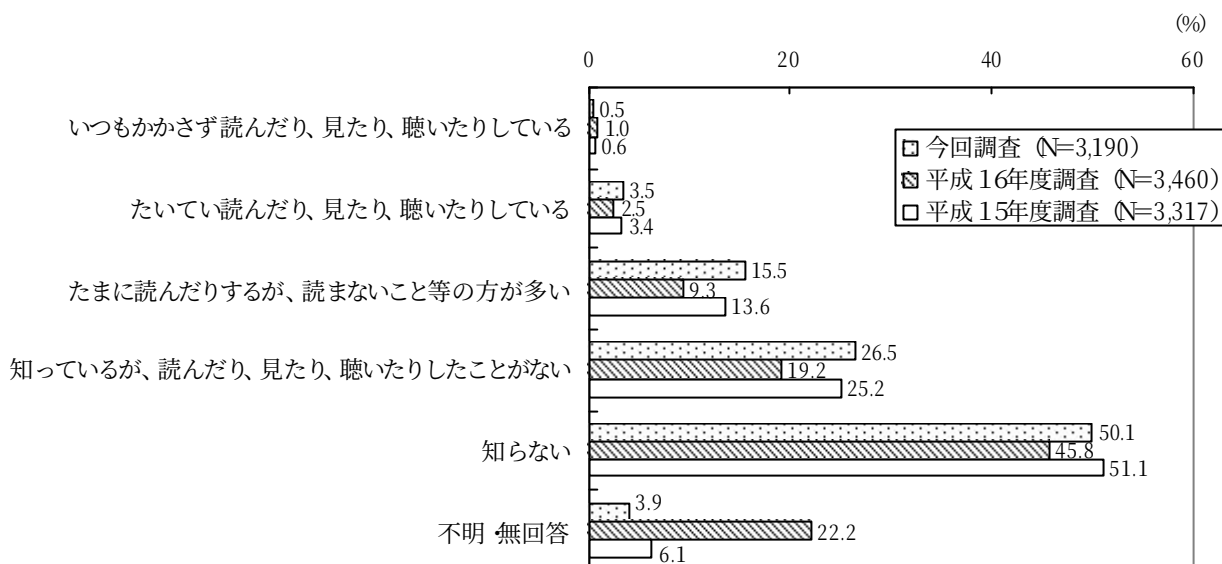
周知率は、男女ともに 20 歳代が他の年代に比べて低く、男性の 20 歳代が 25.1%、女性の 20 歳代が 25.9%となっている。最も高いのは男性では 60 歳代の 62.0%、女性では 60 歳代の 55.2%となっている。

⑥テレビ番組「うおーたんのこどもプラスワン」（びわ湖放送 毎週日曜日 10:00～10:15）

■閲読・視聴率は 4.0%、周知率は 46.0%

「知らない」が 50.1%で最も多く、次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 26.5%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 0.5%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 0.5 ポイント増加、周知率も 14.0 ポイント増加しているが、「知らない」も 4.3 ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「知らない」が最も多い。

閲読・視聴率は湖南地域の 5.5%が最も高く、湖西地域の 1.4%が最も低い。

周知率は、湖北地域の 55.3%が最も高く、甲賀地域の 40.0%が最も低い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率、周知率ともに大きな差はないが、わずかに女性が男性を上回っている。

【性・年代別】

男女ともに全ての年代で閲読・視聴率は一桁台となっている。

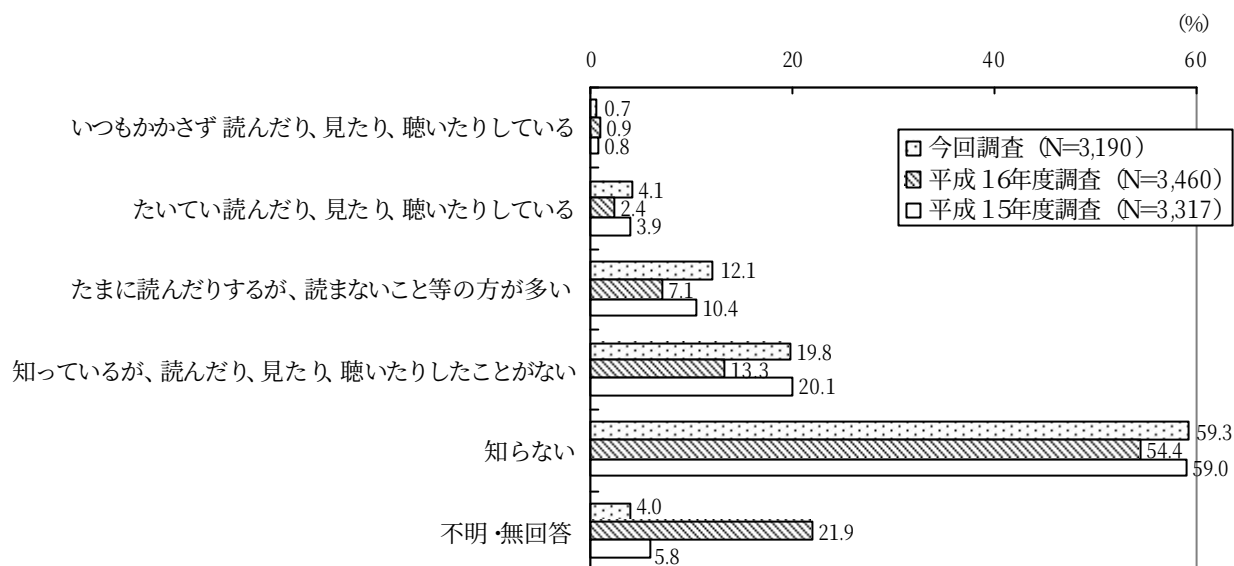
周知率は、男女ともに 30 歳代が他の年代よりも高くなっており、男性の 30 歳代が 53.2%、女性の 30 歳代が 58.9%となっている。

⑦テレビ番組「得ダネ！滋賀だより」（KBS 京都 毎月第3金曜日 11:15～11:22）

■閲読・視聴率は 4.8%、周知率は 36.7%

「知らない」が 59.3%で最も多く、次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 19.8%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 0.7%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 1.5 ポイント増加、周知率も 13.0 ポイント増加しているが、「知らない」も 4.9 ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「知らない」が最も多い。

閲読・視聴率は湖北地域の 5.9%が最も高く、湖西地域の 1.4%が最も低い。

周知率は、湖北地域の 45.6%が最も高く、湖西地域の 33.1%が最も低い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多く、性別で大きな差は見られない。

【性・年代別】

閲読・視聴率は、男性では 70 歳以上の 11.8%が最も高く、女性では 60 歳代の 10.6%が最も高い。

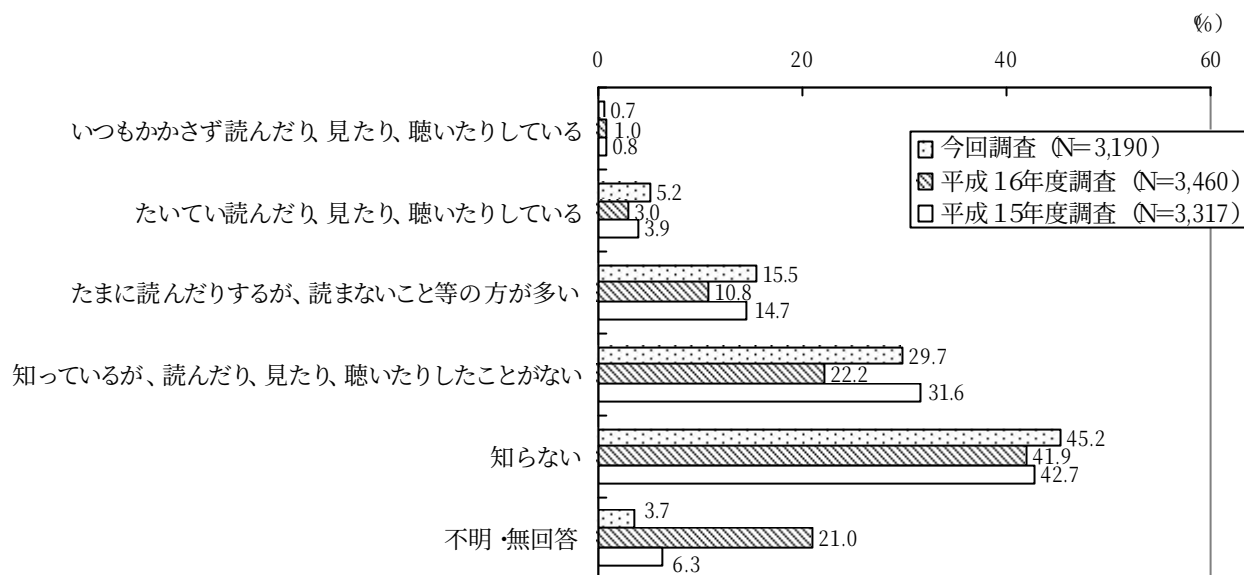
周知率は、男性では 70 歳以上の 52.8%、女性では 70 歳以上の 48.5%が最も高い。

⑧テレビ番組「県議会放送」（びわ湖放送 年7回程度）

■閲読・視聴率は5.9%、周知率は51.1%

「知らない」が45.2%で最も多く、次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が29.7%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は0.7%となっている。

平成16年度調査と比較すると、閲読・視聴率は1.9ポイント増加、周知率も14.1ポイント増加しているが、「知らない」も3.3ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「知らない」が最も多い。

閲読・視聴率は甲賀地域の8.6%が最も高く、大津・志賀地域の4.1%が最も低い。

周知率は、湖北地域の60.3%が最も高く、湖南地域の46.6%が最も低い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率は男性（7.0%）が女性（4.6%）を2.4ポイント上回っている。周知率は男性（54.7%）が女性（48.2%）を6.5ポイント上回っている。

【性・年代別】

閲読・視聴率は、男性では70歳以上の22.8%が最も高く、また男性の60歳代も10.6%で他の年代よりも高い。女性では60歳代の9.9%、70歳以上の10.9%が他の年代よりも高い。

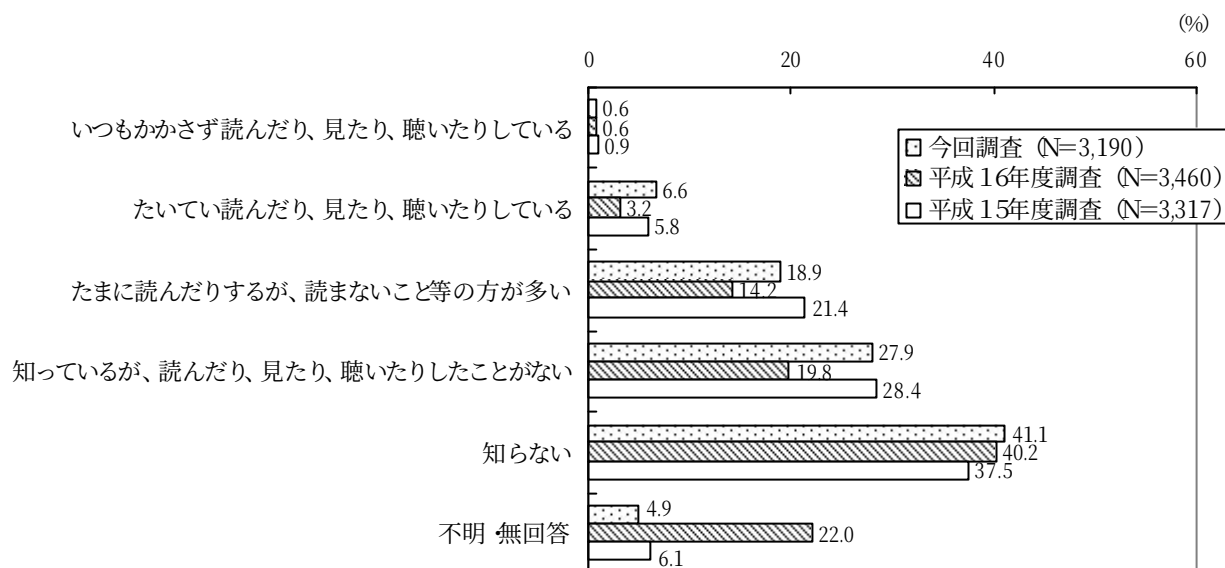
周知率は、男性では60歳代の63.8%、女性では60歳代の66.8%が最も高い。

⑨テレビ番組「教育ウィークリーレポート」（びわ湖放送 毎週月曜日 21:00～21:15）

■閲読・視聴率は 7.2%、周知率は 54.0%

「知らない」が 41.1%で最も多く、次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 27.9%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 0.6%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 3.4 ポイント増加、周知率も 16.2 ポイント増加している。



【地域別】

湖北地域を除き、全ての地域で「知らない」が最も多い。湖北地域では、「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 31.4%で最も多い。

閲読・視聴率は東近江地域の 9.6%が最も高く、湖西地域の 5.6%が最も低い。

周知率は、湖北地域の 62.8%が最も高く、湖南地域の 50.6%が最も低い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率は性別で差がない（男性 7.3%、女性 7.2%）が、周知率は男性（57.3%）が女性（51.9%）を 5.4 ポイント上回っている。

【性・年代別】

閲読・視聴率は、男性では 70 歳以上の 14.4%が最も高く、女性では 50 歳代の 10.5%、60 歳代の 10.3%が他の年代より高くなっている。

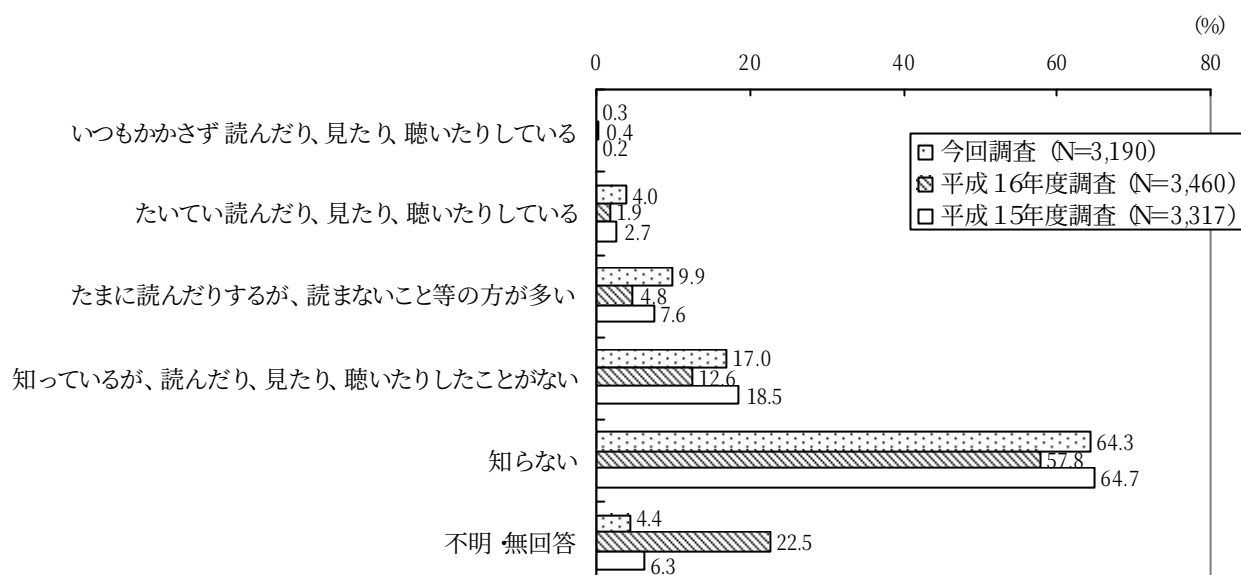
周知率は、男性では 30 歳代の 66.7%、女性では 40 歳代の 63.5%が最も高い。

⑩ラジオ番組「知っとこ滋賀」(KBS 京都・滋賀 毎週金曜日 9:25～9:30)

■閲読・視聴率は 4.3%、周知率は 31.2%

「知らない」が 64.3%で 6 割を超えている。次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 17.0%、「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多いい」が 9.9%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 0.3%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 2.0 ポイント増加、周知率も 11.5 ポイント増加しているが、「知らない」も 6.5 ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「知らない」が最も多い。

閲読・視聴率は湖北地域の 5.4%が最も高く、甲賀地域の 2.9%が最も低い。

周知率は、湖北地域の 38.7%が最も高く、湖東地域の 28.4%が最も低い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率は男女とも 4.4%、周知率は男性が 32.5%、女性が 30.0%となっている。

【性・年代別】

閲読・視聴率は男性の 70 歳以上が 13.5%で最も高くなっている。

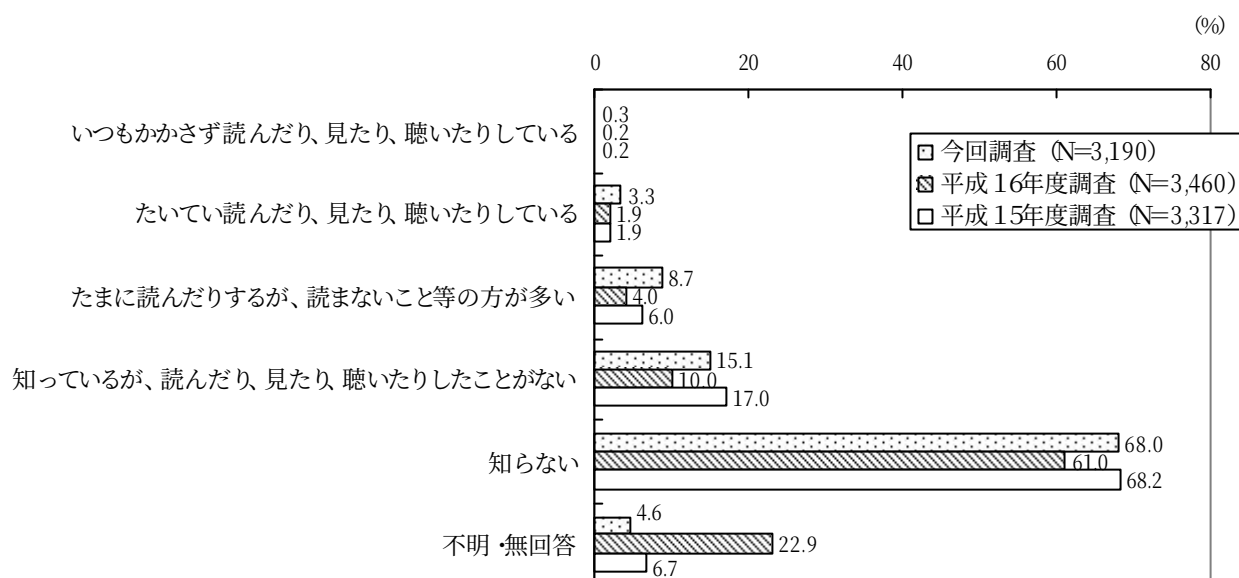
周知率は、男性では 70 歳以上の 43.1%、女性では 60 歳代の 38.0%が最も高い。

⑪ラジオ番組「滋賀プラスワンインフォメーション」(FM滋賀 毎週月・水・金曜日 18:34～18:39)

■閲読・視聴率は 3.6%、周知率は 27.4%

「知らない」が 68.0%で 7割に近い。次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 15.1%、「たまに読んだりするが、読まないこと等の方が多い」が 8.7%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 0.3%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 1.5 ポイント増加、周知率も 11.3 ポイント増加しているが、「知らない」も 7.0 ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「知らない」が最も多い。

閲読・視聴率は東近江地域の 5.1%が最も高く、湖西地域の 1.4%が最も低い。

周知率は、湖北地域の 33.4%が最も高く、湖南地域の 22.8%が最も低い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率は男性が 4.8%、女性が 2.8%、周知率は男性が 30.3%、女性が 25.1%となっており、いずれも男性が女性を上回っている。

【性・年代別】

閲読・視聴率は男性では 70 歳以上の 8.8%が最も高く、女性では 60 歳代の 4.1%が最も高い。

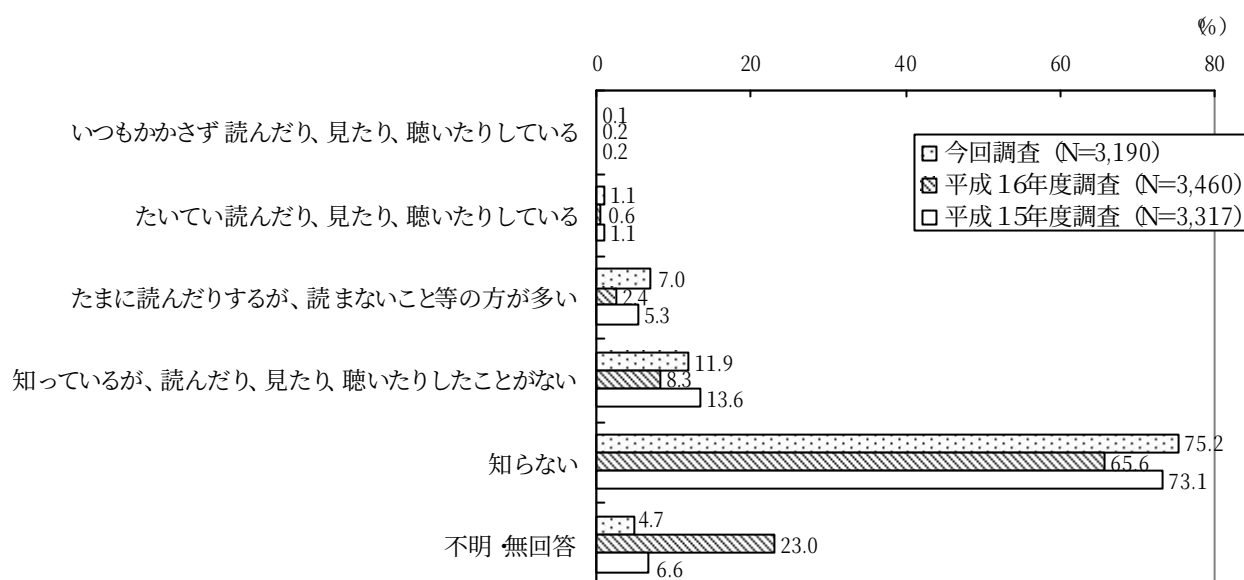
周知率は、男性では 60 歳代の 36.3%、女性では 60 歳代の 31.1%が最も高い。

⑫ラジオ番組「オラ！アミーゴシガ」（FM滋賀 毎週金曜日 19:56～20:00）

■閲読・視聴率は 1.2%、周知率は 20.1%

「知らない」が 75.2%で 7 割を超え、次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 11.9%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 0.1%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 0.4 ポイント増加、周知率も 8.6 ポイント増加しているが、「知らない」も 9.6 ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「知らない」が最も多い。

閲読・視聴率は湖南地域の 1.9%、周知率は甲賀地域の 24.0%が最も高い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率は男性が 1.5%、女性が 0.8%、周知率は男性が 24.2%、女性が 16.5%となっており、いずれも男性が女性を上回っている。

【性・年代別】

閲読・視聴率は男性では 60 歳代の 2.3%が最も高く、女性では 40 歳代の 2.2%が最も高い。

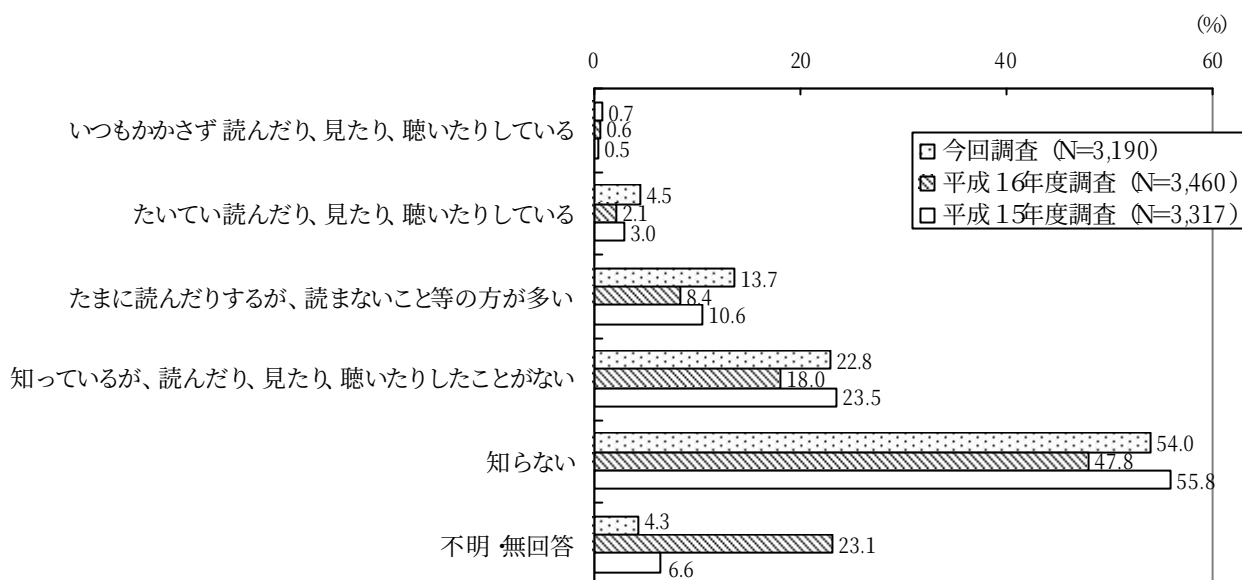
周知率は、男性では 70 歳以上の 31.1%、女性では 60 歳代の 20.2%が最も高い。

⑬滋賀県インターネットホームページ

■閲読・視聴率は 5.2%、周知率は 41.7%

「知らない」が 54.0%で最も多く、次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 22.8%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 0.7%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 2.5 ポイント増加、周知率も 12.6 ポイント増加しているが、「知らない」も 6.2 ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「知らない」が最も多い。

閲読・視聴率は湖南地域の 7.4%が最も高く、東近江地域の 3.3%が最も低い。

周知率は湖南地域の 50.6%が最も高く、東近江地域の 33.1%が最も低い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率は男性が 7.3%、女性が 3.4%、周知率は男性が 47.5%、女性が 36.9%となっており、いずれも男性が女性を上回り、特に周知率は男性が女性を 10.6 ポイント上回っている。

【性・年代別】

閲読・視聴率は男性では 50 歳代の 10.9%が最も高く、女性では 20 歳代の 5.4%が最も高い。

周知率は、男性では 40 歳代の 54.2%、女性では 40 歳代の 46.5%が最も高い。

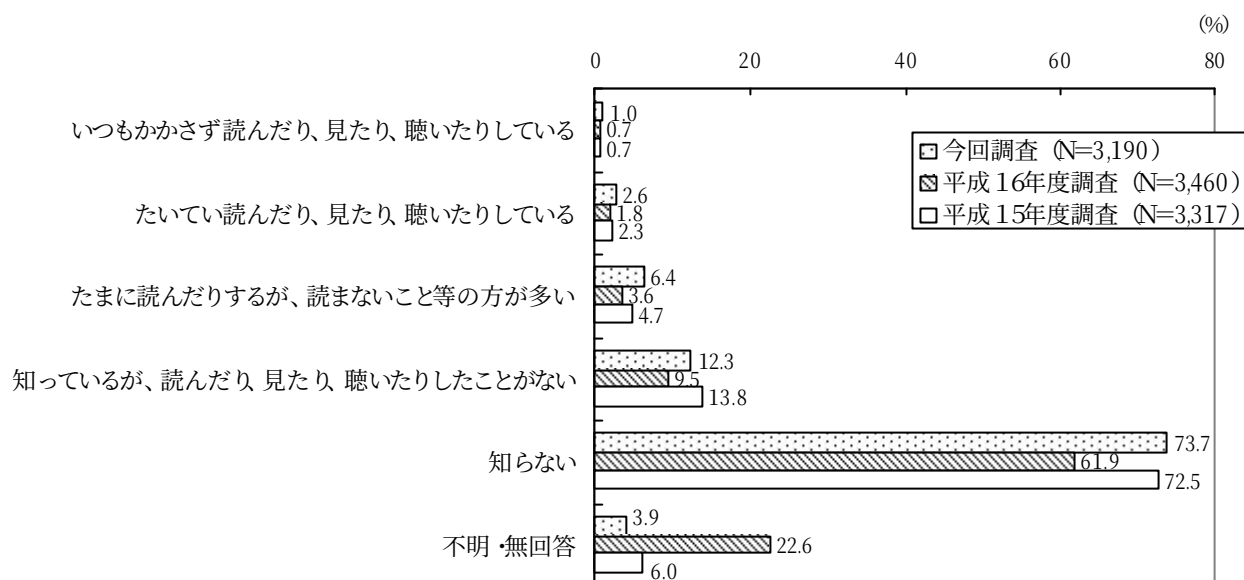
他の項目と異なり男女とも 60 歳代(男性 40.4%、女性 27.8%)、70 歳以上(男性 40.5%、女性 25.0%) の周知率が低くなっている。

⑭有線放送「県政ニュース」

■閲読・視聴率は 3.6%、周知率は 22.3%

「知らない」が 73.7%と 7 割を越え、次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 12.3%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 1.0%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 1.1 ポイント増加、周知率も 6.7 ポイント増加しているが、「知らない」も 11.8 ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「知らない」が最も多い。

閲読・視聴率は湖北地域の 5.8%が最も高く、大津・志賀地域の 1.7%が最も低い。

周知率は甲賀地域の 28.5%が最も高く、湖南地域の 15.8%が最も低い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率は女性（4.2%）が男性（2.9%）を上回っているが、周知率は男性（24.0%）が女性（20.5%）を上回っている。

【性・年代別】

閲読・視聴率は男性では 70 歳以上の 8.0%が最も高く、女性では 70 歳以上の 9.7%が最も高い。

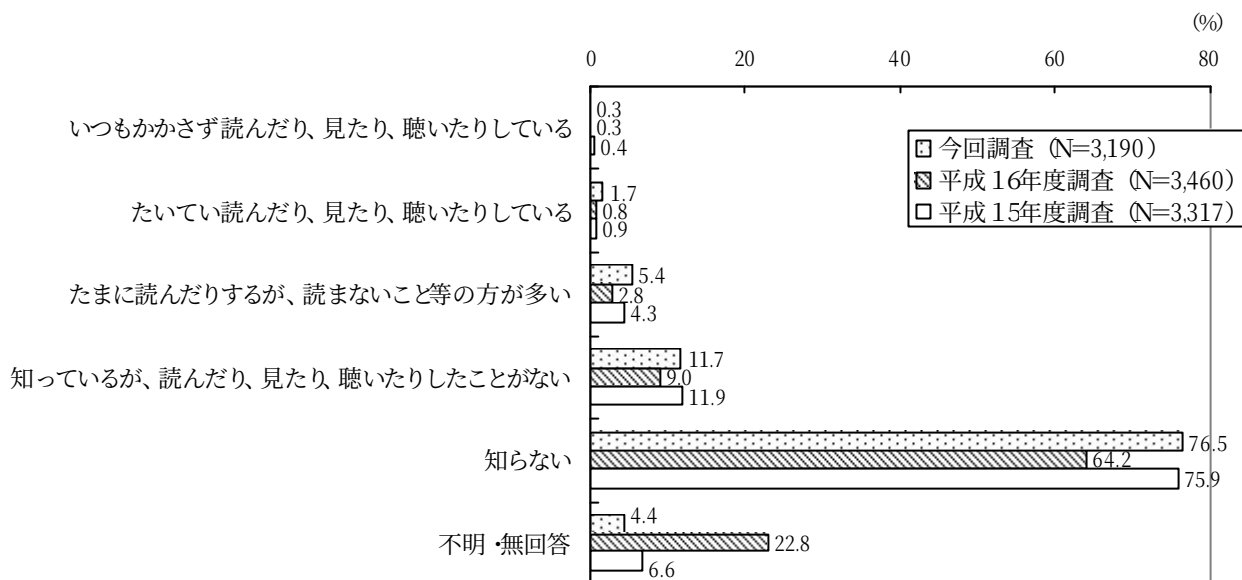
周知率は、男性では 70 歳以上の 38.8%、女性では 70 歳以上の 27.6%が最も高い。

⑮文字放送「滋賀県だより」（日本文字放送 毎日 0:00～24:00）

■閲読・視聴率は 2.0%、周知率は 19.1%

「知らない」が 76.5%と最も多い。次いで「知っているが、読んだり、見たり、聴いたりしたことがない」が 11.7%となっている。「いつもかかさず読んだり、見たり、聴いたりしている」は 0.3%となっている。

平成 16 年度調査と比較すると、閲読・視聴率は 0.9 ポイント増加、周知率も 6.2 ポイント増加しているが、「知らない」も 12.3 ポイント増加している。



【地域別】

全ての地域で「知らない」が最も多い。

閲読・視聴率は湖南地域の 3.1%が最も高く、大津・志賀地域の 0.8%が最も低い。

周知率は湖北地域の 24.1%が最も高く、湖西地域の 10.5%が最も低い。

【性別】

男女とも「知らない」が最も多い。閲読・視聴率は男女ともに 2.0%、周知率は男性(20.6%)が女性(17.4%)を上回っている。

【性・年代別】

閲読・視聴率は男性では 70 歳以上の 4.2%が最も高く、女性では 60 歳代の 5.1%が最も高い。

周知率は、男性では 70 歳以上の 34.2%、女性では 60 歳代の 23.3%が最も高い。

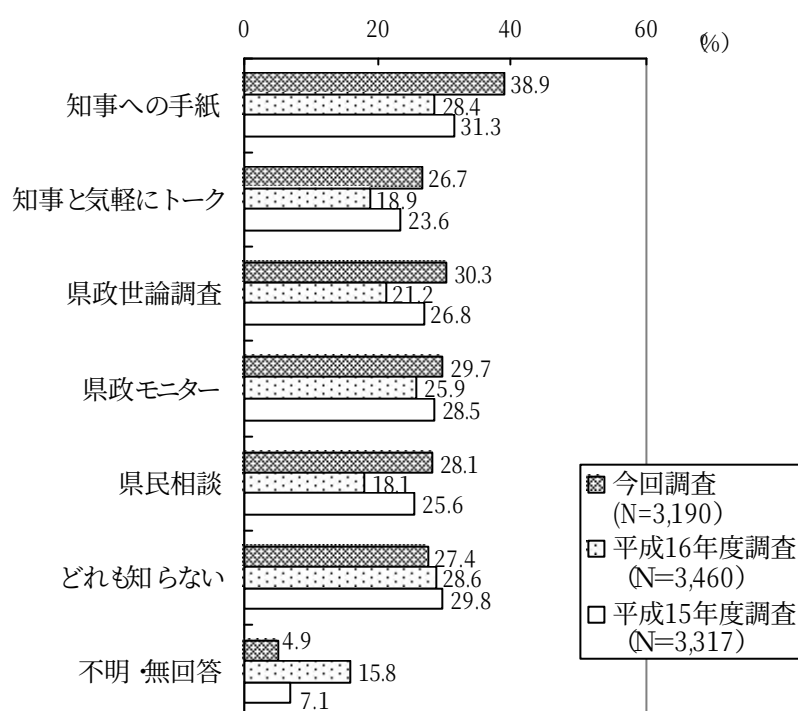
(2) 県の広聴活動の認知状況

問 10 県では様々な機会を通じて、県民の皆さんのご意見やお気づきになったことをお聴きしようと努めていますが、あなたは次にあげる県の広聴活動について知っていますか。(○はいくつでも)

■「知事への手紙」と「県政世論調査」が3割を超える

県が実施している広聴活動の認知度については、「知事への手紙」が最も高く 38.9%、次いで「県政世論調査」が 30.3%となっている。また、「県政モニター」が 29.7%、「県民相談」が 28.1%など他の項目も 20%台の後半となっている。

平成 16 年度調査と比較すると「知事への手紙」が 10.5 ポイント増加、「県民相談」が 10.0 ポイント増加しているほか、「県政世論調査」は 9.1 ポイント、「知事と気軽にトーク」は 7.8 ポイント増加している。



【地域別】

大津・志賀地域を除き全ての地域で「知事への手紙」の認知度が最も高い。大津・志賀地域では「県民相談」の認知度が最も高く 36.0%、「知事への手紙」と「どれも知らない」がともに 32.0%となっている。

【性別】

男女とも「知事への手紙」の認知度が最も高く、男性は 34.9%、女性は 42.6%となっている。

【性・年代別】

男女とも 20 歳代は「どれも知らない」が他の年代に比べて多く、男性は 61.4%、女性は 45.0%となっている。また、男性の 30 歳代、40 歳代も「どれも知らない」が最も多い。

男性の 30 歳代を除き、男女各年代ともに「知事への手紙」の認知度が、他の広聴活動と比べ高くなっている。特に男性では 70 歳以上が 47.7%で他の年代に比べ高くなっており、女性では 40 歳代 (47.2%)、50 歳代 (47.7%)、60 歳代 (51.4%) が高くなっている。